

- ・西尾泰広「近代前期南王子村の社会構造」
- ・横田冬彦「身分的周縁論をめぐって」『部落問題研究』173、2005/08
- ・朝治武「書評／岩間一雄編『三好伊平次
の思想史的研究』」
- ・高市光男「研究ノート 愛媛における「部
落寺院」をめぐって上」
- ・塚田孝「人別帳と掟を通じてみた日本近
世の身分」
- ・廣川和花「ハンセン病者の療養形態に関
する考察 群馬県吾妻郡草津町湯之沢部
落の事例から」『部落問題研究』174、2005/12
- ・高市光男「愛媛における「部落寺院」を
めぐって下」
- ・吉田ゆり子「地域社会と身分的周縁 信
濃国下伊那郡を中心として」
<モ>
『もやい』50、長崎人権研究所、2005/10
- ・阿蘇龍生「福岡県 小倉藩の衣服統制に
ついて」
- ・阿南重幸「長崎県 身分と身形 衣服と
外観 長崎の場合」
- ・一法師英昭「大分県 身分と身形 衣服
統制を中心に」
- ・黒川みどり「講演／つくりかえられる徴
日本近代・被差別部落・マイノリテ
ィ」
- ・黒木広志「宮崎県 身分と身形 衣服統
制を中心に」
- ・竹森健二郎「福岡県 福岡藩における衣
服統制と身分」
- ・中村久子「佐賀県 身分と身形 佐賀の
事例から」
- ・樋口輝幸「熊本県 身分と身形 熊本藩
の衣服制度」
<リ>
『りべらしおん』16、2006/03
- ・「本の紹介／『史料集 浪速部落の歴史』
（「浪速部落の歴史」編纂委員会編刊）」
『リリアンス研究紀要 解放研究しが』
15、反差別国際連帯解放研究しが、2005
/05
- ・古川与志継「近江の太鼓と近江文化をめ
ぐって 京都で作られた太鼓を中心に」
<ル>
『ルシファー』8、水平社博物館、2005
/10
- ・大林美亀「差別に生きた女性たち」（奈
良）近・現代を問い直す」
- ・仲林弘次「第8回特別展 「戦争の中の
水平社運動」を開催して」
- ・松村徳子「ある「フェミニスト」から見
た企画展「差別に生きた女性たち」」
- ・守安敏司「第五回企画展 「差別に生き
た女性たち」を開催して」

- 2005年3月)』
『部落解放研究』166、2005/10
- ・宮前千雅子「前近代における癩者の存在形態について上」
- 『部落解放研究』167、2005/12
- ・中尾健次「書評／松下志朗著『近世九州の差別と周縁民衆』」
 - ・宮前千雅子「前近代における癩者の存在形態について下」
- 『部落解放研究』168、2006/02
- ・朝治武「書評／箕面市史改訂編さん委員会『改訂箕面市史 部落史』資料編3」
 - ・高久智広「近世後期天王寺長吏林家における相続をめぐる 長吏文書研究会の活動より上」
- 『部落解放研究くまもと』50〈特集／差別の諸相—水俣病、ハンセン病、在日韓国・朝鮮人〉、熊本県部落解放研究会、2005/10
- ・樋口輝幸「身分と身形 衣服統制を中心に—第24回九州地区部落解放史研究集会報告」
 - ・部落史古文書研究会「れきし・くらし・ひと20」
- 『部落解放研究くまもと』51〈特集／新しい部落史の見方について〉、2006/03
- ・山本尚友「部落史の新しい見方」
 - ・竹森健二郎「九州における前近代史研究の成果と課題」
 - ・中村久子「佐賀県における被差別民の支配構造 末次村の刑左衛門について」
 - ・大野滋「「腑分けの巧者、虎松」のこと」
 - ・部落史古文書研究会「れきし・くらし・ひと21」
- 『部落解放史ふくおか』118、福岡県人権研究所、2005/06
- ・古文書学習会「近世民衆史の泉47」
 - ・羽音豊調査研究プロジェクト「にんげん・羽音豊2」
- 『部落解放史ふくおか』119、2005/09
- ・羽音豊調査研究プロジェクト「にんげん・羽音豊3」
- 『部落解放史ふくおか』120〈特集／部落改善から融和へ1〉、2005/12
- ・朝治武「再編期中央融和事業協会と山本正男 内部自覚運動論による融和運動の自立」
 - ・大藪岳史「明治・大正期、被差別部落への北海道移住奨励・事業についての試論1」
 - ・桐原健司「書評／守安敏司・藤田正・朝治武著『水平社宣言・解放歌』」
 - ・羽音豊調査研究プロジェクト「にんげん・羽音豊4」
- 『部落解放史ふくおか』121〈特集／部落改善から融和へ2〉、2006/03
- ・田原行人「福岡県における融和事業 1930年代、部落経済更生運動期における全水とのかかわりを中心に」
 - ・大藪岳史「明治・大正期、被差別部落への北海道移住奨励・事業についての試論2」
 - ・小正路淑泰「堺利彦農民労働学校4 第三期講義内容の検討」
 - ・羽音豊調査研究プロジェクト「にんげん・羽音豊5」
- 『部落解放なら』23、奈良人権・部落解放研究所、2005/03
- ・吉田栄治郎「史料紹介／近江博労の大和国内での活動を伝える文書」
- 『部落解放ひろしま』76、部落解放同盟広島県連合会、2005/05
- ・「座談会／「同和対策審議会」答申40年をふりかえって」
- 『部落解放ひろしま』77、2005/07
- ・下原隆資「被爆の実相と部落差別」
 - ・石岡隆允「谷口修太郎さんを悼む」
- 『部落問題研究』172、部落問題研究所、2005/04
- ・小林准士「松江藩領における鉢屋の存在形態」
 - ・竹永三男「地方長官会議と部落問題 1890-1947年の地方長官会議の検討を通して」

- ・ひろたまさき「差別の歴史を考える14／いろいろな差別」
『部落解放』558、2005/12
- ・赤坂憲雄「差別の精神史30／差別のフォークロア 東日本編3」
- ・ひろたまさき「差別の歴史を考える15／差別へのあらがひ」
『部落解放』559、2006/01
- ・赤坂憲雄「差別の精神史31／差別のフォークロア 東日本編4」
- ・ひろたまさき「差別の歴史を考える16／近世における平等思想」
『部落解放』560増刊〈部落解放・人権入門2006〉、解放出版社、2006/01
- ・大賀正行「講演／部落解放運動との出会いと実践」
- ・木村輝夫「講演／私の雪駄人生 伝統の手作りを守る」
- ・塩谷幸子「講演／このムラに生まれ育って」
- ・中尾健次「講演／近世の被差別民とその生活 『大阪の部落史』 編纂から」
- ・渡邊実「講演／かわ、皮、革 通史にない歴史を考える」
『部落解放』561〈特集／土方鐵の文学世界〉、2006/02
- ・赤坂憲雄「差別の精神史32 差別のフォークロア 東日本編5」
- ・笠松明広「「差別と表現」と土方鐵」
- ・直原弘道「土方鐵と現代俳句」
- ・ひろたまさき「差別の歴史を考える17／近代日本の人間平等宣言」
- ・山口公博「「地下莖」と「破戒」 それぞれの登場人物をめぐって」
- ・吉田永宏「小説家・土方鐵の足跡 「地下莖」から「小説 石田波郷」にいたる」
『部落解放』562増刊〈部落解放研究第39回全国集会報告書〉2006/02
- ・市川訓敏「講演／和歌山の部落史の可能性 「和歌山の部落史」 編纂会の発足に際して」
- ・藤井寿一「和歌山の部落史 前近代 第3分科会／部落史と解放運動史の課題」
- ・守安敏司「上熊野地の坤… 「人権からみた新宮のあゆみ（草稿）」にかかわって 第3分科会／部落史と解放運動史の課題」
『部落解放』563、2006/03
- ・赤坂憲雄「差別の精神史33／差別のフォークロア 東日本編6」
- ・ひろたまさき「差別の歴史を考える18／文明と野蛮の分割」
『部落解放研究』12、広島部落解放研究所、2006/03
- ・山本真一「山本政夫研究、その問題意識」
『部落解放研究』163、部落解放・人権研究所刊、2005/04
- ・浅尾篤哉「三浦参玄洞の思想 全国水平社の創立と真宗信仰の視点から」
- ・大西比呂志「書評／小林丈広編著『都市下層の社会史』」
『部落解放研究』164、2005/06
- ・藤野豊「ハンセン病問題と部落問題の接点 「特殊部落調附瀬村調」の意味するもの」
- ・上田武司「皮革の流通 福岡藩の皮革大坂廻送を中心として」
- ・今西一「書評／黒川みどり『つくりかえられる徴 日本近代・被差別部落・マイノリティ』」
『部落解放研究』165、2005/08
- ・寺木伸明「元禄期における天王寺「非人」集団の諸側面 悲田院中間宗旨改帳と類族生死改帳を手がかりにして」
- ・布引敏雄「『勤仲記』にみえる「清目」について」
- ・別所秀高「河内国大江御厨供御人の多様な活動とその消長 大阪府西ノ辻遺跡の事例より」
- ・森明彦「神世七代について 障害と罪をめぐっての覚え書き」
- ・「部落史関係文献目録（2004年4月～

- 説]
- 『ヒューマンライツ』209、2005/08
- ・中山英一「戦後60年 部落解放の歩み3／憲法の理念を差別撤廃に」
 - ・友常勉「書評／竹沢泰子編『人種概念の普遍性を問う 西洋的パラダイムを超えて』抵抗と遡行、その先を一望」
- 『ヒューマンライツ』210、2005/09
- ・中山英一「戦後60年 部落解放の歩み4／松本治一郎のもとで」
- 『ヒューマンライツ』211、2005/10
- ・中山英一「戦後60年 部落解放の歩み5／長野県連の書記長として」
- 『ひょうご部落解放』118、ひょうご部落解放・人権研究所、2005/09
- ・本郷浩二「書評／高山文彦著『水平記 松本治一郎と部落解放運動の100年』」
- 〈フ〉
- 『部落解放』548、解放出版社、2005/04
- ・赤坂憲雄「差別の精神史23／箒と掃除をめぐるフォークロア」
 - ・ひろたまさき「差別の歴史を考える7／第一次グローバルゼーションの波」
- 『部落解放』549、2005/05
- ・赤坂憲雄「差別の精神史24／草履の民俗誌をめぐる」
 - ・ひろたまさき「差別の歴史を考える8／中世支配層の対外意識」
- 『部落解放』550、2005/06
- ・上杉聰／外川正明「対談／部落史研究と教育現場をどうつなぐか」
 - ・ひろたまさき「差別の歴史を考える9／蝦夷と琉球」
- 『部落解放』551、2005/07
- ・赤坂憲雄「差別の精神史25／沖縄に被差別民は存在したか 上」
 - ・ひろたまさき「差別の歴史を考える10／中世から近世へ」
- 『部落解放』553(特集／戦後の部落問題)、2005/08
- ・赤坂憲雄「差別の精神史26／沖縄に被差別民は存在したか 中」
- ・朝治武「戦争責任と部落解放運動史研究」
 - ・磯村英一／金井宏司「占領期の同和行政を語る」
 - ・加藤昌彦「西光万吉と和栄政策 日本最初の国際平和貢献政策」
 - ・黒川みどり「二つの映画「破戒」に見る戦後の部落問題」
 - ・ひろたまさき「差別の歴史を考える11／日本型華夷意識の形成」
 - ・渡辺俊雄「戦後の部落史を考える」
- 『部落解放』554、2005/09
- ・赤坂憲雄「差別の精神史27／沖縄に被差別民は存在したか 下」
 - ・小正路淑泰「全国水平社創立大会に参加した『種詩く人』の作家・中西伊之助」
 - ・磯村英一「インタビュー／「同対審答申」の舞台裏」
 - ・金井宏司「「同対審答申」はこうして作られた 同和对策審議会総会速記録より」
 - ・菱山謙二「人権政策の原点への回帰 「同和对策審議会答申」の歴史的位置づけ」
 - ・ひろたまさき「差別の歴史を考える12／日本型儒教イデオロギー」
- 『部落解放』555増刊(部落史ゆかりの地)、2005/09
- 『部落解放』556、2005/10
- ・赤坂憲夫「差別の精神史28／差別のフォークロア 東日本編1」
 - ・竹森健二郎「本の紹介／高山文彦著『水平記 松本治一郎と部落解放運動の百年』」
 - ・ひろたまさき「差別の歴史を考える13／近世「賤民」制の形成」
- 『部落解放』557、2005/11
- ・赤坂憲雄「差別の精神史29／差別のフォークロア 東日本編2」
 - ・高山文彦／松本龍／朝治武(司会)「対談／生き抜け、その日のために。松本治一郎生誕百年と『水平記』」

うり」記載など」
 〈ス〉
 『水平社博物館研究紀要』8、水平社博物館、2006/03
 ・八箇亮仁「洞村移転の思想的相貌」
 ・手島一雄「大正末期、融和運動論の諸相 地方改善部『融和』（三好伊平次・編集発行人）の位置」
 ・金井英樹「史料紹介／『同和通信』に見る「水平社関係記事」2」
 『スティグマ』119、千葉県人権啓発センター、2006/03
 ・坂井康人「部落史を歩く1／久留里の被差別部落／里見氏と被差別民」
 〈ト〉
 『『同和はこわい考』通信』168、藤田敬一、2005/10
 ・黒川みどり「大きな思想史的流れに位置づける」
 〈ナ〉
 『なら解放新聞』722、奈良県部落解放同盟支部連合会、2005/04
 ・井岡康時「研究あれこれ／大正期奈良県における水平社運動の一側面8」
 『なら解放新聞』723、2005/06
 ・井岡康時「研究あれこれ／大正期奈良県における水平社運動の一側面9」
 『奈良県立同和問題関係史料センター研究紀要』11、奈良県教育委員会、2005/03
 ・山村雅史「中世大和の被差別民一考」
 ・吉田栄治郎「明治初年の被差別部落分村の一事例」
 ・井岡康時「近代奈良県の地域社会と部落差別をめぐる問題点」
 ・奥本武裕「光慶寺・光瀬寺の教線展開と「穢多」村寺院」
 ・中川みゆき「大和国最後の検校・隅田検校の生涯」
 ・和田萃「特別寄稿／古代社会とケガレ意識」
 『奈良県立同和問題関係史料センター研究

紀要』12、2006/03
 ・井岡康時「行政史料から見た初期奈良県水平社の諸相」
 ・吉田栄治郎「奈良奉行川路聖謨が見た幕末大和の被差別民」
 ・山村雅史「中世大和の千秋万歳考」
 ・奥本武裕「19世紀大和における真宗フォークロアの生成・序説」
 ・中川みゆき「〈あはれ〉へのまなざしー「鉢叩き」をめぐる蕉門の句を手掛かりに」
 ・中村泰彦「史料紹介／市場村南里の「草場村覚帳」」
 ・守安敏司「水平社創立の思想 水平社博物館展示からみえるもの」
 〈ハ〉
 『花園大学人権教育研究センター報』26、花園大学人権教育研究センター、2005/04
 ・森本泰弘「部落史の見直し作業とヒント「耳袋」を読む」
 『反差別人権研究みえ』4、反差別・人権研究所みえ、2005/09
 ・和田勉「伊勢国の芸能の民「ささら」」
 〈ヒ〉
 『ひーと』78、人権に関する基本法制定と対峙審答申完全実施を求める三重県実行委員会、2005/07
 ・編集部「人権の歴史を知ろう2／温和な闘士 松井久吉4」
 『ヒューマンライツ』205、部落解放・人権研究所、2005/04
 ・大田信男／角岡伸彦／金井宏司「戦後60年 部落解放の歩み1／特集「部落を解放せよ」はなぜ生まれたか」
 ・藤井寿一「『大阪の部落史』第一巻を読む」
 『ヒューマンライツ』206、2005/05
 ・大田信男／金井宏司「戦後60年 部落解放の歩み2／国策樹立運動に関わって」
 『ヒューマンライツ』208、2005/07
 ・小山仁示「現代史の目46／藤範晃誠の小

- ・井澤武大「土佐藩政期に見る被差別部落」『しこく部落史』8〈特集／第11回全国部落史研究交流会〉、2006/03
- ・吉田栄治郎「喜田貞吉と部落問題 部落史研究をめぐる諸環境から」
- ・有元正雄「被差別民の真宗信仰」
- ・水本正人「宿神信仰と被差別民 「かわた」を中心に」
- ・白石正明「[同愛会と有馬頼寧]素描」
- ・手島一雄「中央融和事業協会の創設」
- ・井澤武大「入門部落史2／土佐藩政期中期以降の農民の生活」『史料センター事業ニュース』11、奈良県立同和問題関係史料センター、2005/03
- ・吉田栄治郎「研究あれこれ／被差別部落改姓一件」『史料センター事業ニュース』12、2006/03
- ・磯部信孝「研究あれこれ／三十三所信仰と部落 宇陀西国三十三所の場合」『人権と社会』1、岡山人権問題研究所『人権と社会』編集委員会、2005/10
- ・菅木一成「書評／脇田晴子著『日本中世被差別民の研究』 「中世被差別民の成立」論を中心に」
- ・成澤榮壽「書評／岩間一雄編『三好伊平次の思想史的研究』を読む 部落改善・融和運動指導者についての初の本格的な総合的研究書」『人権と部落問題』730、部落問題研究所、2005/04
- ・小原亨「文芸の散歩道／西鶴作品に著された近世賤民たち 『男色大鑑』より2」『人権と部落問題』733、2005/07
- ・川端俊英「文芸の散歩道／「いのちの初夜」と『破戒』」『人権と部落問題』735、部落問題研究所、2005/09
- ・桑原律「文芸の散歩道／森田草平作「離合」 芸人や渡り者の逗留の場を描いた小説」
- ・山田稔「本棚／滋賀県同和問題研究所編『近江の差別された人びと 中・近世を中心に』」『人権と部落問題』736、2005/09
- ・杉之原寿一「野中広務と部落問題」『人権と部落問題』738、部落問題研究所、
- ・秦重雄「文芸の散歩道／木村毅 「哀話 漂泊の女絵師」」『人権と部落問題』739、2005/12
- ・秦重雄「『楠木寛遺稿追悼集』 「部落問題文藝の提唱」をした融和運動家」『人権と部落問題』741、2006/02
- ・串山まゆら「第43回部落問題研究者全国集会報告／分科会2 歴史2」
- ・久角健二「第43回部落問題研究者全国集会報告／分科会1 歴史1」『人権と部落問題』743、2006/03
- ・竹永三男「書評／鈴木良著『水平社創立の研究』」『人権21 調査と研究』175、岡山人権問題研究所、2005/04
- ・管木一成「部落問題史の論点2／「前近代に部落史はない」 畑中敏之氏の提起をめぐって」『人権21 調査と研究』179、2005/12
- ・尾川昌法「明治の人権論・ノート16／「民権」と「人権」 自由民権運動2」『人権21 調査と研究』180、2006/02
- ・大森久雄「謎の部落史」『信州農村開発史研究所報』92、信州農村開発史研究所、2005/06
- ・斎藤洋一「南牧村砥沢の金鉱山跡一佐藤興平論文の紹介」
- ・川向秀武「[朝倉重吉・米重関係資料] 雑感」『信州農村開発史研究所報』93、2005/09
- ・川向秀武「朝倉重吉は大変な読書家だった 朝倉資料覚書2」
- ・斎藤洋一「明治中期・八王子の被差別部落に関する資料」
- ・森安彦「天正検地帳にみる諸身分 「て

記念講演会に参加して 講演2 / 「近世前期における被差別民の諸相 (寺木伸明)」から

『研究所通信』321、2005/05

・本郷浩二「『維新の変革と部落』研究会・報告／明治初期の賤視意識について (里上龍平)」

・内田龍史「都市下層と部落問題研究会Ⅱ・報告／1「近世の大道芸 江戸を中心に (中尾健次) / 2「遊郭と差別 (今西一)」

『研究所通信』322、2005/06

・本郷浩二「『維新の変革と部落』研究会・報告／巡礼 (袖乞巡礼)・乞食と非人番 河内国錦部滝畑村の事例を中心に (北崎豊二)」

『研究所通信』323、2005/07

・藤原豊「歴史部会・報告／排日移民法と水平社」(廣畑研二)」

・本郷浩二「『維新の変革と部落』研究会・報告／神戸居留地と部落問題」(高木伸夫)」

『研究所通信』324、2005/08

・内田龍史「都市下層と部落問題研究会・報告／1「福岡藩における宗旨改めと身分」(石瀧豊美)」

『研究所通信』326、2005/10

・本郷浩二「『維新の変革と部落』研究会・報告／明治初期の一被差別部落の動向と地域社会 大和国葛下郡東山村の事例から (井岡康時)」

『研究所通信』327、2005/11

・本郷浩二「『維新の変革と部落』研究会・報告／明治初年被差別部落一村独立の一事例 (吉田栄治郎)」

『研究所通信』328、2005/12

・内田龍史「都市下層と部落問題研究会・報告／近代日本における肉食受容過程の分析 辻壳、牛鍋と西洋料理 (野間万里子)」

・本郷浩二「『維新の変革と部落』研究会・

報告／葬送の近代化について (秋定嘉和)」

『研究所通信』329、2006/01

・本郷浩二「『維新の変革と部落』研究会・報告／近世から近代への部落差別の変化 幕末から明治中期までの部落差別の構造的移行 (上杉聰)」

『研究所通信』330、2006/02

・内田龍史「都市下層と部落問題研究会・報告／1「琉球弧の近代史と『民族』・再考」(興那覇潤) / 2「書評／坂野徹『帝国日本と人類学者 1884～1952年』」(阿部安成／黒川みどり)」

・本郷浩二「『維新の変革と部落』研究会・報告／1「維新変革期の被差別民における職業観の形成 多様な被差別民 髪結・三味聖との対比から」(森田康夫) / 2「幕末・維新期の斃牛馬処理とと畜業をめぐる動向」(本郷浩二)」

〈サ〉

『佐賀部落解放研究所紀要』23、佐賀部落解放研究所、2006/03

・中村久子「史料紹介／『口達録』その1」『雑学』31、下之庄歴史研究会、2005/05

・上野茂「異能者論4」

・西大寺一「畑中部落史年表 (草稿)」

・辻本正教「説経節『愛護の若』の記号論的解釈の試み6 / 細工・田畑之介兄弟を軸として」

〈シ〉

『しこく部落史』7、四国部落史研究協議会、2005/08

・吉田栄治郎「喜田貞吉と部落問題」

・山下隆章「『西讃暴動』における部落襲撃と救恤 近世から近代への狭間で」

・宇賀平「『大変記』による土佐における「解放令」の考察」

・吉田文茂「行動する人道主義者岡崎精郎の誕生をめぐる 1920年代を中心に」

・五藤孝人「『ちよんがり』の精神史 運動と歌との相関関係を探る」

- ら学んだこと」
- 『月刊 滋賀の部落』377、2005/05
- ・鈴木俊亮「同和教育の先達／戦後同和教育の証言 竹村國三郎」
- 『月刊 滋賀の部落』378、2005/06
- ・鈴木俊亮「同和教育の先達／阿形賢應と蒲生中（1951～1966）」
- 『月刊 滋賀の部落』379、2005/07
- ・鈴木俊亮「戦後同和教育の証言／橋本清市と「なんでも会」」
- 『月刊 滋賀の部落』380、2005/08
- ・阿部義宣「書評／滋賀県同和問題研究所編『近江の差別された人びと 中・近世を中心に』」
 - ・鈴木俊亮「戦後同和教育の証言／関谷喜与嗣と長浜東中」
- 『月刊 滋賀の部落』381、2005/09
- ・鈴木俊亮「戦後同和教育の証言／平田諦善の仕事」
 - ・鈴木俊亮「青年・労働・部落解放運動と同和行政に献身 池元勇雄の歩んだ道」
 - ・東川「同対審「答申」40周年」
 - ・水谷孝信「書評／「近江国愛知郡山塚皮田村関連文書 浦部家文書・春田家文書」」
- 『月刊 滋賀の部落』382、2005/10
- ・鈴木俊亮「戦後同和教育の証言／徳島法融と夜間学習塾 地区の寺院住職・中高教育に貢献」
- 『月刊 滋賀の部落』383、2005/11
- ・鈴木俊亮「同和教育の源流 小坂善造と戦前の南野小学校」
- 『月刊 滋賀の部落』384、2005/12
- ・藤田恒春「天正十九年蘆浦村検地帳について」
- 『月刊 滋賀の部落』386、2006/01
- ・鈴木俊亮「戦後同和教育の証言／息郷小宇野徳樹と第3回全同教大会」
- 『月刊 滋賀の部落』387、2006/02
- ・鈴木俊亮「戦後同和教育の証言／野洲中学校 林嘉一郎 夜間補習の取り組み」
 - ・藤田恒春「困窮人お救い米」
 - ・山田稔「大正前半期の部落改善運動について」
- 『月刊 滋賀の部落』388、2006/03
- ・山田稔「戦後滋賀の同和教育と谷口勝巳」
 - ・鈴木俊亮「戦後同和教育の証言／運動と教育の統一 谷義治—甲賀の地で活躍」
- 『月刊 滋賀の部落』389、2006/03
- ・鈴木俊亮「滋賀における部落解放運動の証言／水平社運動の戦士、元部落解放同盟 滋賀県副委員長 朝野温知」
- 『研究紀要』12、ひょうご部落解放・人権研究所、2006/03
- ・兼本雄三・倉橋昌之・高木伸夫・永瀬康博・藤原豊「播磨国姫路高木村の高田家文書（皮革編1）」
 - ・前川修「金子念阿の部落問題論」
 - ・本郷浩二「地方改良運動期における神戸の部落改善運動 水平運動・融和運動への契機と歴史的前提」
 - ・朝治武「赤穂松茸山入会権闘争の歴史の意味 部落委員会活動との関係を通して」
 - ・関口寛「兵庫県水平社と政治運動 1920年代を中心に」
 - ・手島一雄「1920年代の兵庫県水平運動と融和運動」
 - ・駒井忠之「初期全国水平社内に対立に翻弄された世良田村事件」
- 『研究所通信』320、部落解放・人権研究所、2005/04
- ・内田龍史「第1報告「中国における楽戸の歴史と楽戸出身者の現状」（項陽）／第2報告「日本における楽戸の歴史について」（山路興造）」
 - ・事務局「「維新の変革と部落」研究会・報告／「明治初年における牝牛馬処理制」と畜業 兵庫の事例から」（本郷浩二）」
 - ・中尾健次「『大阪の部落史』第1巻発刊記念講演会に参加して 講演1／「古代における牛馬観の変遷（積山洋）」から」
 - ・森田康夫「『大阪の部落史』第1巻発刊

- ・山下隆章「人権文化の礎／差別事件により退職した後、部落改善に一生を尽くした元教員 仲邑芳三 上」・「人権文化の礎／差別事件により退職した後、部落改善に一生を尽くした元教員 仲邑芳三 下」
『解放新聞徳島版』23、2005/11
- ・山下隆章「人権文化の礎／「融和問題」解決のために出家した官吏 加藤仁海」
『解放新聞徳島版』25、2006/01
- ・川元祥一「部落の伝統芸能／身分差別を超える思想 日本舞踊と人権」
『解放新聞徳島版』26・27、2006/02・/03
- ・川元祥一「人権文化の礎／共感の文化・部落文化の構築1」・「人権文化の礎／共感の文化・部落文化の構築2」
- ・中野輝行「職業差別について インド・朝鮮・日本との比較から」・「職業差別について インド・朝鮮・日本との比較から2」
『解放新聞長野版』355～366、解放新聞社長野支局、2005/04～2006/03
- ・中山英一「差別とのたたかい13」～「差別とのたたかい24」
『解放へのはばたき』78〈特集／「留岡幸助」「賀川豊彦」から問われていること〉、日本基督教団部落解放センター運営委員会、2005/11
- 『語る・かたる・トーク』125～133、横浜国際人権センター、2005/07～2006/03
- ・斎藤洋一「信州の近世部落の人びと3」～「信州の近世部落の人びと11」
- ・田村正男「同和問題再考55」～「同和問題再考63」
『語る・かたる・トーク』128～133、2005/10～2006/03
- ・林力「わたしと部落とハンセン病1」～「わたしと部落とハンセン病6」
『カトリック部落問題委員会ニュースレター』101・102、カトリック部落問題委員会、2006/01・/03
- ・藤野豊「ハンセン病差別と部落差別 上」・「ハンセン病差別と部落差別 下」
『かわとはさきもの』132～135、東京都立皮革技術センター台東支所、2005/06・/09・/12・2006/03
- ・稲川實「靴の歴史散歩77」～「靴の歴史散歩80」
- ・出口公長「シリーズ姫路革3」～「シリーズ姫路革6」
『関西大学人権問題研究室紀要』51、関西大学人権問題研究室、2005/09
- ・藤原有和「大坂北組惣代の盗賊方仮役中の記録について」
『関西学院大学人権研究』10、関西学院大学人権教育研究室、2006/03
- ・山泰幸「異人論再考 「排除」の民俗学のために」
〈キ〉
『季刊 人権問題』3、兵庫人権問題研究所、2006/01
- ・杉之原寿一「兵庫県における戦後部落解放運動と兵庫県政 上」
『季節よめぐれ』210、京都解放教育研究会、2005/07
- ・山本尚友「被差別部落の歴史」
『季節よめぐれ』217、2006/02
- ・守安敏司「水平社創立の思想—水平社博物館の展示から見えるもの—」
『季節よめぐれ』218、2006/03
- ・上野茂「奈良県三郷町下之庄の歴史」
〈ク〉
『グローブ』43、世界人権問題研究センター、2005/10
- ・斉藤利彦「春駒と京太郎」
『グローブ』44、2006/01
- ・木下光生「信用・公益・救済」
〈ケ〉
『月刊 滋賀の部落』376、滋賀県同和問題研究所、2005/04
- ・鈴木俊亮「同和教育の先達／平井清隆か

- 『解放新聞』2252・2253、2006/01
- ・高山文彦／組坂繁之「対談／命をかけて
荊冠旗を守りぬく」・「対談／「生きぬけ、
その日のために」の言葉が」
- 『解放新聞』2261、2006/03
- ・音谷健郎「『破戒』は何を残したか」
- 『解放新聞改進黨』343～345、部落解放同
盟改進黨支部、2006/01～/03
- ・「改進黨の歴史 1」～「改進黨の
歴史 3」
- 『解放新聞神奈川版』289・290・292・
293、解放新聞社神奈川支局、2005/11・
/12・2006/02・/03
- ・藤川正樹（司会）／藤野豊・鳥山洋・小
松郁夫・大高俊一郎・中村彰信「第19回
人権啓発研究会の分科会報告から 分
科会6「部落問題入門」1 神奈川の部
落の歴史と解放運動」～「第19回人権啓
発研究会の分科会報告から 分科会6
「部落問題入門」4 神奈川の部落の歴
史と解放運動」
- 『解放新聞神奈川版』291、2006/01
- ・沖浦和光（文責：編集部）「第2回厚木
市民講演会の記録 講演『日本文化史と
悪場所』1 マンザイの風俗誌」
- 『解放新聞神奈川版』293、2006/03
- ・中村彰信（報告）「『神奈川の部落史』で
第3回公開講座を開く 横須賀の古文書
を読み解く」
- 『解放新聞京都市版』162～170・172・
173、部落解放同盟京都市協議会、
2005/04～/12・2006/02・/03
- ・「京都市内の被差別部落の過去・現在・
未来 歴史編その26／首切り又次郎から
犬神人へ7」～「京都市内の被差別部落
の過去・現在・未来 歴史編その36／首
切り又次郎から犬神人へ17」
- 『解放新聞京都市版』163～168、2005/05
～/09
- ・「探訪／部落の近・現代史1 田中親友夜
学校 [田中]」～「探訪／部落の近・現
代史4（5）ルンビニ学園旧趾 七条」
- 『解放新聞京都版』691～694、解放新聞社
京都支局、2005/06～/07
- ・小谷正之「この人に聞く／69 村の意識
改革をめざす」～「この人に聞く／72
隣保館の建設でたたかい4」
- 『解放新聞京都版』693～697・699～707・
709・713～716、2005/07～/12・2006/02
～/03
- ・「連載／部落史 東三条「天部村」ふる
さとをみつめて1」～「連載／部落史
東三条「天部村」ふるさとをみつめて
19」
- 『解放新聞京都版』695、2005/07
- ・秋定嘉和「京都部落問題研究資料センタ
ー所長就任にあたって」
- 『解放新聞東京版』617・619、解放新聞社
東京支局、2005/04・/05
- ・浦本誉至史「江戸の被差別民社会と幕府
21 幕末に向かう被差別民社会3／弾左
衛門体制に介入する町奉行」・「江戸の被
差別民社会と幕府22 幕末に向かう被差
別民社会4（終）／被差別民自治が生ん
だ身解放要求」
- 『解放新聞東京版』621、2005/06
- ・沖浦和光「カースト制度の歴史と現状1
急速に変貌するインド社会」
- 『解放新聞東京版』624～626、2005/07～
/08
- ・國本衛「二重の差別に抗して 差別撤廃
への思い1」～「二重の差別に抗して
差別撤廃への思い3」
- 『解放新聞徳島版』16～24、解放新聞社徳
島支局、2005/04～/12
- ・水本正人「部落文化に光をあてて14／雨
乞神事」～「部落文化に光をあてて22／
春駒考」
- 『解放新聞徳島版』17～20、2005/05～/08
- ・吉田栄治郎「人権文化の礎／喜田貞吉」
～「人権文化の礎／喜田貞吉4」
- 『解放新聞徳島版』21・22、2005/09・/10

- 読書研究会報告／柳父章著「キリシタン弾圧と部落差別」を読む」
- ・好並隆司「『秘事法門』について」『岡山部落解放研究所報』266、2005/05
 - ・好並隆司「第3回身分と差別研究会報告／三宅正彦「日本近世儒教における差別と解放」 賤民制度に触れた海保青陵と千秋有磯」『岡山部落解放研究所報』267、2005/06
 - ・佐川英治「第4回差別と身分制読書研究会報告／黒川みどり「部落差別における人種主義」「人種」から「民族」へ」『岡山部落解放研究所報』268、2005/07
 - ・佐橋謙「第5回差別と身分制読書研究会報告／友永健三「国連と『身分差別』問題をめぐる動向」『岡山部落解放研究所報』270、2005/09
 - ・荒木弘「『面掛け行列』と頼朝」『岡山部落解放研究所報』272、2005/11
 - ・原田憲太郎「部落史検証フィールドワーク〈奈良・和歌山編〉大逆事件と高木顕明師 浄泉寺（和歌山県新宮市）／中上健次生誕の地（和歌山県新宮市）／大峰山 女人結界門（奈良県天川村洞川）」
 - ・好並隆司「第1回「部落史論争を読み解く」読書会報告／戦後における部落史研究の再出発」『岡山部落解放研究所報』273、2005/12
 - ・荒木弘「第2回「部落史論争を読み解く」読書会報告／戦後直後の疾風怒涛の時代」
 - ・田代菊雄「部落史検証「奈良・和歌山編」に参加して」『岡山部落解放研究所報』275、2006/02
 - ・原田憲太郎「第3回「部落史論争を読み解く」読書会／戦前における部落問題」
 - ・好並隆司「新刊紹介／斎藤洋一著「被差別部落の生活」」『岡山部落解放研究所報』276、2006/03
 - ・岡確「第4回「部落史論争を読み解く」読書会報告」
- 〈カ〉
- 『解放教育』458、2006/01
 - ・中尾健次「にんげんセミナー2005 ミニ講演報告／分科会B「職人の技」より 職人の技 部落の生活史から」『解放研究』19、東日本部落解放研究所、2006/03
 - ・坂井康人「近世における勸進の変化と地域社会 下野国を中心にして」
 - ・浪川健治「近世北奥地域における被差別集団 弘前藩領の歴史的な実態とその編成」
 - ・菅野守「関東水平社福島支部主幹者「栃木勇吾」とは誰か」
 - ・朝治武「初期水平運動と民族問題 平野小劔研究 5」
 - ・岡雄一郎「えた頭弾左衛門配下組織の研究 下 下野国安蘇郡佐野犬伏町小頭太郎兵衛配下組織を例に」『解放研究とっとり』8、鳥取県部落解放研究所、2006/02
 - ・岸田和久「八橋郡西構の部落史に学ぶ 近世後期から戦後の解放運動まで」『解放新聞』2217～2219、解放新聞社、2005/05
 - ・黒川みどり／編集部「筆者に聞く『つくりかえられる徴』を書いた黒川みどりさん1」～「筆者に聞く『つくりかえられる徴』を書いた黒川みどりさん（終）」『解放新聞』2223・2225・2229・2234・2238・2243・2247・2250・2254・2259、2005/06～/12・2006/03
 - ・湧水野亮輔「ぶらくを読む1」～「ぶらくを読む10」『解放新聞』2233、2005/08
 - ・「第11回全国部落史研究交流会 [報告] 融和事業の流れを改めて見直す」『解放新聞』2248、2005/12
 - ・編集部「山陰で調査とシンポ 全国大学同和教育研究協議会が伯耆地方の国縁の民で」

- ・鈴木良「部落問題・水平運動・融和運動 史料に関する実証的研究」
- ・吉田伸之「共同研究の本源」
〈ミ〉
『御影史学論集』30、御影史学研究会、2005/10
- ・酒向伸行「第56回日本民俗学会年会公開シンポジウム記録 陰陽師と民俗社会」
〈リ〉
『立命館経済学』319、立命館大学経済学会、2006/01
- ・畑中敏之「「二字之醜名」をめぐる身分呼称と歴史認識の再検討」
〈レ〉
『歴史学研究』800、青木書店、2005/04
- ・横山真一「書評／新井勝紘編『自由民権と近代社会』」
『歴史学研究』807増刊、2005/10
- ・中川学「近世における触穢観念と政治秩序 為政者の死と穢」
- ・水内俊雄「戦後大阪の都市政治における社会的・空間的排除と包摂 部落民、在日コリアン、日雇労働者等との関連において」
『歴史学研究』809、2005/12
- ・高埜利彦「近世史部会／中川学 近世に

(3) 部落問題・人権関係逐次刊行物

- 〈ア〉
『明日へ』32、東京人権啓発企業連絡会広報委員会、2005/05
- ・上杉聰「部落史は変わった」
〈オ〉
『大阪の部落史通信』37、大阪の部落史委員会、2005/11
- ・井上秀和「図書紹介／東の歴史と生活を掘りおこす会編『新編 嶋村の歴史と生活』第1集・第2集」
- ・大阪の部落史委員会事務局「第1巻所収の別添絵図からわかること」
- ・里上龍平「新聞記事と部落（17）初期の

- おける触穢観念と政治秩序／大橋幸泰 キリシタン禁制と異端的宗教活動」
『歴史学研究』810、2006/01
- ・友常勉「書評／黒川みどり著『つくりかえられる徴 日本近代・被差別部落・マイノリティ』」
『歴史と神戸』249、2005/04
- ・木津力松「加東郡上東条村小作争議と放火・弾圧事件」
- ・山本英孝「上東条村小作争議と加東郡水平社」
『歴史と神戸』252、神戸史学会、2005/10
- ・岡田晃「宿駅 道場河原」
『歴史評論』662、校倉書房、2005/06
- ・伊藤喜良「非農民と南北朝時代 網野善彦氏をめぐる」
- ・落合延孝「書評／井上攻著『由緒書と近世の村社会』」
『歴史文より』55、栃木県歴史文化研究会、2005/04
- ・大熊哲雄「弾左衛門由緒書は主張する」
『歴史文より』56、2005/07
- ・大熊哲雄「長吏・かわたの河原巻物に込められた意味・主張について 東日本の弾左衛門由緒書を中心に」

改善団体」

- ・森田康夫「西郡部落史研究会の近況」
『大阪の部落史通信』38、2006/03
- ・中尾健次「『大阪の部落史』第2巻の刊行によせて」
- ・別所秀高・松井章「世界考古学会議中間会議大阪大会2006参加記」
- ・藤井寿一「書評と紹介／『史料集 浪速部落の歴史』（「浪速部落の歴史」編纂委員会編）」
『岡山部落解放研究所報』265、岡山部落解放研究所、2005/04
- ・田代菊雄「第2回「日本の身分制と差別」

- 學法學會、2006/02
 ・吉田徳夫「被差別部落の起源を巡って」
 〈キ〉
 『季刊東北学』3、東北芸術工科大学東北
 文化研究センター、2005/05
 ・沖浦和光・熊谷達也・赤坂憲雄「座談会
 ／幻影としての差別とケガレ サンカ・
 狩猟民・隼人・蝦夷」
 ・辻本正教「部落差別と暴力 供養・犠牲、
 そして」
 ・前田速夫「差別と暴力 菊池山哉の民俗
 世界にそって」
 〈ケ〉
 『藝能史研究』169、藝能史研究会、
 2005/04
 ・小林健二「書評／『散所・声聞師・舞々
 の研究』(世界人権問題研究センター編)」
 『藝能史研究』170、2005/07
 ・村上紀夫「近世における桂女と配札・勤化」
 『藝能史研究』171、2005/10
 ・山本尚友「乞食者を「ほかひひと」と訓
 むことについて」
 『藝能史研究』172、2006/01
 ・山路興造「『楽戸』の伝流 芸能民差別
 の源流を考える」
 『月刊現代』39(9)、講談社、2005/09
 ・魚住昭「書評／高山文彦著『水平記 松
 本治一郎と部落解放運動の100年』」
 〈コ〉
 『コア・エシックス』2、立命館大学大学
 先端総合学術研究科、2006/03
 ・山本崇記「『オール・ロマンス』糾弾闘
 争の政治学 戦後部落解放運動史再考に
 むけて」
 〈サ〉
 『佐賀大学文化教育学部研究論文集』10
 (1)、佐賀大学文化教育学部、2005/09
 ・白石正明「有馬頼寧と日本教育者協会」
 〈シ〉
 『社会科学』75、同志社大学人文科学研究
 所、2005/09
 ・庄司俊作「解説／野中広務の『園部時代』」
 ・庄司俊作(聞き手)「インタビュー／野
 中広務氏にきく 私の『園部時代』」
 『種智院大学研究紀要』7、種智院大学、
 2006/03
 ・田中和男「社会学者・米田庄太郎の青春」
 『新潮45』279、新潮社、2005/07
 ・高山文彦「西山廣喜と松本治一郎 『水
 平記』外伝」
 『人文論叢』22、三重大学人文学部文化学
 科、2005/03
 ・尾西康充「梅川文男研究5 プロレタリ
 ア詩人・堀坂山行の戦後」
 〈チ〉
 『千葉史学』47、千葉歴史学会、2005/11
 ・岡田あさ子「弾左衛門支配の場と組織
 下野国の事例から」
 〈テ〉
 『てくてく』140、カトリック正義と平和
 京都協議会、2006/02
 ・堤年弘「奈良とハンセン病 寺社・被差
 別部落との関わりで」
 〈ト〉
 『同朋大学佛教文化研究所紀要』25、同朋
 大学佛教文化研究所、2006/03
 ・近藤祐昭「『伊勢・美濃・尾張・三河地
 方における部落差別の基礎的研究』につ
 いて」
 〈ニ〉
 『日本史研究』517、日本史研究会、
 2005/09
 ・牧宏宏「井上攻著『由緒書と近世の村社
 会』」
 『日本史研究』514、2005/06
 ・細井浩志「書評／繁田信一著『陰陽師と
 貴族社会』」
 『日本歴史』688、吉川弘文館、2005/09
 ・片岡耕平「中世の穢観念と神社」
 『日本歴史』690、2005/11
 ・大井晴男「『俘囚』について」
 『日本歴史』692、2006/01

- 嶋村の歴史と生活 第1集 嶋村のおこりと身分制社会』2005/07
- 東の歴史と生活を掘りおこす会編刊『新編 嶋村の歴史と生活 第2集 近現代年表編』2005/07
- 日之出子ども会創立50周年記念誌編集委員会編集『日之出支部結成45周年 子ども会創立50周年記念誌』部落解放同盟大阪府連合会日之出支部、2005/04
- ひょうご部落解放・人権研究所編刊『人権歴史マップ神戸版』2005/09
- ・三輪嘉男「9 生田川の付替えと屠場」
 - ・三輪嘉男「10 賀川豊彦と賀川記念館」
 - ・登尾明彦「11 新湊川と番町」
 - ・登尾明彦「12 自由民権運動と住吉」
 - ・編集部「13 金楽寺と兵庫県水平社の創立」
- 〈フ〉
- フィリップ・ポンス『裏社会の日本史』筑摩書房、2006/03
- 〈ホ〉
- 本田豊『戦国大名と賤民 信長・秀吉・家康と部落形成』現代書館、2005/12
- 〈マ〉
- 松本人権推進古文書研究会編刊『古文書に学ぶ松本領内の被差別部落』2005/03
- 〈ミ〉
- 箕面市史改訂版編さん委員会編『改訂箕面

- 市史 部落史 史料編3 近世・近現代附年表』箕面市、2005/03
- 都城市史編さん委員会編『都城市史 通史編 中世・近世』宮崎県都城市、2005/06
- ・「第2編近世 第2章 都城領政の確立 第4節 身分制度」
 - ・「第2編近世 第4章 都城の被差別部落」
- 宮橋國臣『水平社創立宣言と「エクスプレシヨニズム アヴァンギャルド西光万吉の苦悩と遍歴 増補改訂版』2005/03
- 〈モ〉
- 守安敏司・藤田正・朝治武『水平社宣言・解放歌』解放出版社、2005/10
- 〈ヤ〉
- 藪田貫『近世大坂地域の史的研究』清文堂、2005/12
- 八幡浜部落史研究会編刊『部落史研究報告集 第9集』2005/07
- 〈ヨ〉
- 横山百合子『明治維新と近世身分制の解体』山川出版社、2005/10
- 〈レ〉
- 歴史学研究会・日本史研究会編『日本史講座 第7巻 近世の解体』東京大学出版会、2005/04
- ・横山百合子「明治維新と近世身分制の解体」

(2) 逐次刊行物

- 〈ア〉
- 『ICU比較文化』37、国際基督教大学比較文化研究会、2005/03
- ・森田みゆき「戦後における被差別部落女性と日本国憲法草案」
- 『アエラ』964、朝日新聞社、2005/12
- ・千葉望「民俗学者赤坂憲雄 マレピト学者の奥の細道」
- 『新しい歴史学のために』2004年度(1)、京都民科歴史部会、2005/01
- ・杉本弘幸「日本近代都市社会政策と「下層社会」研究の再構成 不良住宅地区・

- 被差別部落・在日朝鮮人」
- 〈カ〉
- 『学習院大學經濟論集』42(3)、学習院大学経済学会、2005/10
- ・斎藤洋一「江戸時代の被差別部落の歴史を見直す」
- 『関西大学博物館紀要』12、関西大学博物館、2006/03
- ・藤尾隆志・藪田貫「津田秀夫文庫文書目録4 松代藩真田家大坂御用場関係文書について」
- 『關西大學法學論集』55(4/5)、關西大

- 〈サ〉
斎藤洋一『被差別部落の生活』同成社、
2005/10
- 〈シ〉
塩見鮮一郎『脱イデオロギーの部落史 呪縛が解けて歴史が見える』にんげん出版、
2005/12
- 滋賀県同和問題研究所編刊『近江国愛知郡山塚皮田村関連文書 浦部家文書・春田家文書』2005/03
- 滋賀県同和問題研究所編刊『近江の差別された人びと 中・近世を中心に』2005/03
- 〈ス〉
菅原憲二編『記録史料に関する総合的研究 記録史料と日本近世社会Ⅳ』〈社会文化科学研究科研究プロジェクト報告書 第136集〉千葉大学大学院社会文化科学研究科、2006/03
- ・横山陽子「史料紹介／出羽国村山郡黒沢村番非人請け証文」
- 鈴木木（研究代表者）『部落問題・水平運動・融和運動史料に関する実証的研究』〈科学研究費補助金（基盤研究（B）（2））研究成果報告書』2005/03
- 鈴木木『水平社創立の研究』部落問題研究所、2005/11
- 〈セ〉
聖母女学院短期大学伏見学研究会『伏見の現代と未来』〈京・伏見学叢書第3巻〉清文堂出版、2005/04
- ・仲島隆夫「伏見における人権のあゆみ 明治期から現代まで」
- 世界人権問題研究センター編刊『2004年度講演録 講座・人権ゆかりの地をたずねて』2006/03
- ・秋定嘉和「西陣の仕事と風俗 戦前の京文化の社会的基盤について」
- ・山路興造「空也堂 三昧地を寒行した有髪の僧たち」
- ・山本尚友「祇園社と犬神人」

- 〈ソ〉
曹洞宗人権擁護推進本部『仏種を植ゆる人 内山愚童の生涯と思想』〈曹洞宗ブックレット宗教と人権8〉曹洞宗務庁、
2006/01
- 〈タ〉
高山文彦『水平記 松本治一郎と部落解放運動の100年』新潮社、2005/05
- 〈ツ〉
筒井功『漂泊の民サンカを追って』現代書館、2005/07
- 〈ナ〉
中島久恵『モノになる動物のからだ 骨・血・筋・臓器の利用史』批評社、
2005/11
- 「浪速部落の歴史」編纂委員会編刊『史料集 浪速部落の歴史』2005/03
- 奈良県被差別部落史編纂委員会編『奈良県被差別部落史史料集 第5巻』奈良人権・部落解放研究所、2005/10
- 奈良県立同和問題関係史料センター編『大和国中世被差別民間関係史料 奈良県同和問題関係史料 第10集』奈良県教育委員会、2005/03
- 奈良県立同和問題関係史料センター編『初期奈良県水平社関係史料 奈良県同和問題関係史料第11集』奈良県教育委員会、
2006/03
- 〈ニ〉
西海賢二『近世のアウトローと周縁社会』〈臨川選書26〉臨川書店、2006/02
- 日韓『女性』共同歴史教材編纂委員会編『ジェンダーの視点からみる日韓近現代史』梨の木舎、2005/10
- ・熊本理抄「第2章 3・1独立運動と社会運動の展開 7 女性民衆運動 水平社運動と女性」
- 丹生谷哲一『身分・差別と中世社会』塙書房、2005/06
- 〈ヒ〉
東の歴史と生活を掘りおこす会編刊『新編

- とプロレタリア文学』〈和泉選書149〉和泉書院、2006/03
- 学術文献刊行会編『日本史学年次別論文集 近世1—2003年』朋文出版、2005/08
- ・阿南重幸「江戸期—皮流通と大坂商人 長崎・府内・小倉・筑前・大坂」
- 学術文献刊行会編『日本史学年次別論文集 近世2—2003年』朋文出版、2005/08
- ・阿部茂巳「元治元年小屋頭の身分解放」
 - ・藤本清二郎「紀州藩半番頭仲間の家系と奉公株」
- 学術文献刊行会編『日本史学年次別論文集 中世2—2003年』朋文出版、2005/09
- ・高田陽介「葬送のなについて 中世非人の職掌との関わりから」
 - ・加瀬直弥「中世における殺生禁断と祭祀 鶴岡八幡宮における初期放生会の考察」
- 学術文献刊行会編『日本史学年次別論文集 近代3—2003年』朋文出版、2006/01
- ・水内俊雄「近代期大阪の空間構造と居住分化」
 - ・荒武賢一朗「明治前期大阪における尿尿問題」
- 学術文献刊行会編『国文学年次別論文集 近代5 平成15(2003)年』朋文出版、2006/03
- ・尾西康充「梅川文男研究3 戦前の部落解放運動とプロレタリア文学」
- 〈カ〉
- 掛谷宰平氏遺稿集編集委員会編『日本帝国主義と社会運動 日本ファシズム形成の前提』文理閣、2005/04
- ・掛谷宰平「1926年の福連闘争 水平運動における反軍闘争」
 - ・掛谷宰平「同愛会・全国融和連盟と中央融和事業協会の対立と統合 1920年代の融和運動」
 - ・掛谷宰平「1920年代の融和運動」
- 加藤政洋『花街 異空間の都市史』朝日新聞社、2005/10
- 金井清光『一遍聖絵新考』岩田書院、2005/09
- ・『一遍聖絵』に見る草履・草鞋と被差別民の草履作り」
- 鹿野正直『近代社会と格闘した思想家たち』〈ジュニア新書〉岩波書店、2005/09
- ・「3 存在の復権をめざして／松本治一郎」
- 川口正志『水平のふるさとに生まれて 部落解放・人権運動50年』奈良人権・部落解放研究所、2006/03
- 川元祥一『和人文文化論 その機軸の発見』御茶の水書房、2005/12
- 刊行委員会編『山本正美治安維持法裁判陳述集 続／山本正美裁判関係記録・論文集』新泉社、2005/07
- ・山本正美「断章 本論のための覚書 水平運動」
- 〈キ〉
- 木下川沿革史研究会編『木下川地区のあゆみ・戦後編 皮革業者たちと油脂業者たち』現代企画室、2005/05
- 〈ク〉
- 楠木裕樹／岡山部落解放研究所編『被差別部落の謎 「神々が宿る聖域」と「清め役」』岡山部落解放研究所、2005/07
- 久留高浩・奥村弘編『展望日本歴史17 近世から近代へ』東京堂出版、2005/07
- ・鈴木良「地域支配と部落問題 その歴史的諸段階」
 - ・茂木陽一「明治六年北条県血税一揆の歴史的意義」
- 〈コ〉
- 児玉識『近世真宗と地域社会』法蔵館、2005/06
- ・「補論2 真宗者による初期部落差別撤廃運動とその限界—山口県の場合」
- 小松克巳『問い直す差別の歴史 ヨーロッパ・朝鮮賤民の世界』〈プロブレムQ&A〉緑風出版、2005/10

資料

部落史関係文献目録

(2005年4月～2006年3月)

1. 本目録は、概ね2005年4月から2006年3月までの間に発表された部落史関係の著作・論文を対象としているが、昨年度目録に収録できなかった2005年3月刊までの文献は優先的に収録した。
2. 全体を(1)単行本、(2)逐次刊行物、(3)部落問題・人権関係逐次刊行物に分類し、(1)は編著者の、(2)と(3)は逐次刊行物の50音順に配列した。
3. 本目録は、部落解放・人権研究所が基礎になるデータを収集して作成した(各地研究所・研究会による補充の過程を経ることができなかった)。
4. 2006年4月以降のデータを含め、本目録に収録しきれなかった文献については、当研究所ホームページ中の文献データベースを用いて検索できる (http://web-db.blhri.org/navi/index_ronbun.htm)。

(1) 単行本

- 『サンカ 幻の漂泊民を探して』河出書房
新社〈KAWADE・道の手帖〉、2005/06
〈ア〉
網野善彦・吉本隆明・川村湊『歴史としての
の天皇制』作品社、2005/04
〈イ〉
飯尾恭之『サンカ学叢書 第2巻 サンカ・
廻游する職能民たち 尾張サンカの研究
実証編』批評社、2005/02
飯尾恭之『サンカ学叢書 第3巻 サンカ・
廻游する職能民たち 尾張サンカの研究
考察編』批評社、2005/03
五木寛之『サンカの民と被差別の世界 日
本人のこころ中国・関東』講談社、
2005/10
伊藤毅・吉田伸之編『水辺と都市』〈別冊
都市史研究〉、2005/07
・塚田孝「近世大坂における牛馬皮の流通」
〈オ〉
大阪市史編纂所編『大阪市史史料第66輯
幕府宿継文書・川方地方御用覚書』大阪
市史料調査会、2005/06
大阪人権博物館編刊『部落問題に向きあ
った100人』2005/12
- ・朝治武「『部落問題に向きあった100人』
という問題意識の射程」
・手島一雄「部落改善・融和運動の諸相と
展開 水平運動との連関を念頭に」
・宮武利正「一九三八年十一月二十四日・
中之島公会堂」
・守安敏司「初期水平社運動がみた改善・
融和運動」
・渡辺俊雄「戦後部落解放運動がめざした
社会像 部落の現実と自己意識」
大阪の部落史委員会編『大阪の部落史 第
2巻 史料編 近世2』解放出版社、
2006/01
『大阪の部落史』普及版プロジェクト／秋
定嘉和・北崎豊二・渡辺俊雄編著『自覚
と誇り『大阪の部落史』を読む 近現代』
解放出版社、2006/03
沖浦和光『日本民衆文化の原郷 被差別部
落の民俗と芸能』〈文春文庫〉文藝春秋、
2006/02
沖浦和光『『悪所』の民俗誌 色町・芝居
町のトポロジー』〈文春新書497〉文藝春
秋、2006/03
尾西康充『近代解放運動史研究 梅川文男